

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福井工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクイコウギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F118310105628
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	福井県
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップB(海外インターンシップ)
	学部・研究科等名	全学部
	担当教職員名・役職	島田 茂・キャリアセンター長
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	18
	受入企業等数	9
	受入企業等名	(株)小松製作所、(株)三和商会、(株)ソディック、(株)日本エー・エム・シー 日本電産テクノモータ(株)、福井鋳螺(株)、フクビ化学工業(株)、(株)UACJ シーナカリンウィロート大学附属プラサーンミット高校・中学校
	産学協議会の整理上の類型	1.令和4年度実績につき分類未適用
	キャリア形成支援活動の分類	3.海外でのキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等) 3.その他
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	現地教育機関における授業補助
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業の海外事業拠点にて研修を実施。駐在員の生活拠点より出勤から同行、終業まで海外における就業体験を行った。受入企業の事業内容に応じて、現地スタッフとの実務作業や社員との外回り(関連企業・取引先)の業務体験や業務改善の検討といった課題解決に取り組んだ。また現地教育機関にて日本語授業のアシスタントを担当した。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3年生を対象に、夏季休暇期間中の2週間にわたり企業の海外事業所にて就業体験を行う海外インターンシップを実施している。海外での生活体験や就業体験を積み、異文化理解、国際感覚を育み、グローバルなキャリア形成を促す。本事業は、インターンシップB(キャリア形成選択科目)として取り扱い、2単位を付与している。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	参加希望者と個別面談を実施、本研修の趣旨の理解、参加目的の明確化を行っている。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	キャリアセンター職員による個別面談時、インターンシップ等を終えての成果等について振り返りを行っている。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が企業等に赴き企業担当者より学生の状況についてヒアリングしている。またオンラインツールを利用して、必要に応じて教職員が学生の相談に対応できる環境を整備している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	キャリアセンター職員が中心となり、計7回の事前講義(渡航前)を実施。自己分析、研修先企業等の業界研究および職種研究を段階的に実施したほか、海外勤務経験者(大学職員)による海外でのリスク管理、学園理事長から経営者・組織のトップ目線から見た参加意義について等の講義を実施。また受入先企業の本社訪問を行い、企業担当者からの事業内容等の説明に加えて、一部の企業では海外拠点でも必要となる実務体験を実施。渡航後には現地集合研修として、キャリアセンター職員によるコミュニケーション研修やビジネスマナーについての研修を実施。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	現地研修期間中は日誌を作成、学生自身による日々の振り返りを行っている。現地研修終了後、現地での成果報告会を実施。研修企業毎に発表を行い、研修の振り返りや他の参加学生の研修内容を学ぶ機会とした。成果報告会には、受入先企業担当者および大学教職員が参加、質疑応答などを含め研修成果の評価やフィードバックを行った。さらに帰国後にも学内にて成果報告会を実施、受入先企業の人事担当者や学長をはじめとした大学教員が参加し、参加学生の評価や今後への助言を行った。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	現地研修期間中に参加学生が作成する日誌を企業担当者が確認、翌日以降の研修について助言をいただいた。インターンシップ等の就業体験実施期間中、教職員が企業等に赴き企業担当者より学生の状況についてヒアリングを行った。またオンラインツールを利用して、必要に応じて教職員が学生との相談に対応した。

項目	確認事項	届出内容
要素④	4-1. キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1. はい
	4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み	1. アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3. キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例: ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2. 「4. その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3. 上記回答内容に関する詳細	事前に書面による参加希望調査書の提出および個別面談による参加目的の明確化や課題設定を実施。研修後は研修報告書を作成、目的の達成度や研修を通しての学びを言語化する仕組みを構築している。また成果報告会や企業担当者が作成する評価票をもとにルーブリックを用いた評価を大学教員が実施している。
要素⑤	5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1. はい
	5-2. 該当する実施期間	1. 連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1. 連続した5日間以上」を選択した場合)	6～7日間(研修先による)
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2. 事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3. 複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2. 「4. その他」の実施期間の内容	
5-3. 上記回答内容に関する詳細	受入先企業8社および高校1校において計10日間の就業体験を実施。	
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	1. 企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2. 大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3. 企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4. 受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 6. 企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2. 「7. その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細	事前に海外インターンシップを実施する背景や期待する効果等を御理解のうえ学生の受入れを承諾いただき、また受入企業側からの要望等をヒアリングしたうえで参加学生のマッチングを行い、受入企業の負担軽減に努めるとともに研修プログラムの設定を行っている。研修日誌および評価票により企業担当者から学生への助言や評価を得ている。学内での成果報告会に企業担当者が参加し、学生への評価やフィードバックを実施している。事後学習等を含めた研修終了後、受入企業からのヒアリングを行い、研修内容・運営方法等への課題について検証および改善案を策定している。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.fukui-ut.ac.jp/international/ocps/
問い合わせ先	大学等名	福井工業大学
	担当部署名	キャリアセンター就職支援課
	担当者役職名	課長代理
	担当者氏名	政兼 隆
	電話番号	0776-29-7868
	メールアドレス	syusyoku@fukui-ut.ac.jp